

指定管理者候補者の選定結果について

秋葉区役所地域課所管の施設について、以下の通り指定管理者候補者を選定しました。

施設名 及び所在地	指定管理者（候補者）
新潟市新津地域交流センター、新潟市新津本町地域コミュニティセンター 新潟市秋葉区新津本町1丁目2番39号	新津地域交流センター管理運営委員会 代表者 会長 塩田 安成 住 所 新潟市秋葉区新津本町1丁目2番39号
新潟市新関コミュニティセンター 新潟市秋葉区下新364番地1	新関コミュニティ協議会 代表者 会長 瀬戸 範彦 住 所 新潟市秋葉区下新364番地1
新潟市新津地区勤労青少年ホーム 新潟市秋葉区新津東町1丁目5番12号	新津東部コミュニティ協議会 代表者 会長 斎藤 龍秋 住 所 新潟市秋葉区新津東町1丁目5番12号

選定理由等

施設の概要	上記は、秋葉区に設置された地域課所管のコミュニティ施設等です。
指定期間 (予定)	平成28年4月1日～平成31年3月31日
募集状況	非公募
指定管理者 申請者 評価会議	委員長 東村 里恵子（秋葉区自治協議会会長） 委員 中島 純（新津地区公民館運営審議会委員） 委員 村井 豊（小須戸小・中学校地域教育コーディネーター） 委員 渡邊 信子（A r t 税理士法人 代表社員） ※（ ）内は主な役職
評価基準	I 評価項目 1 施設の平等利用の確保 （1）団体について （2）施設の管理方法 2 施設の効用を最大限に発揮し、管理経費の縮減が図られる （1）事業提案内容 （2）サービス向上に向けた取組 （3）要望や苦情への対応 （4）稼働率アップへの取組 （5）予算の範囲内での適正な執行 3 事業計画に沿った管理を安定して行う能力 （1）従事者の雇用・労働条件 （2）地域貢献活動の実績 （3）安全確保・災害時の対応 （4）個人情報保護の取組・関係法令の遵守 （5）男女共同参画の取組 4 総合評価 II 評価 適・否で評価（個別項目・総合評価）
評価会議に おける評価	新潟市秋葉区コミュニティセンター等指定管理者申請者評価会議では、申請者から提出された事業計画書等の資料に基づき評価を行い、申請のあった3団体について「適」と評価されました。
選定理由	評価会議における評価結果をもとに所管部署において検討した結果、申請者は指定管理者としての業務遂行能力を有することから、指定管理者候補者に選定することとしました。
スケジュール	○指定管理者申請者評価会議 ・第1回 平成27年 9月16日 ・第2回 平成27年10月19日 ○平成27年12月市議会で審議・議決

【参考】現指定管理期間の評価

施設名	指定管理者	総評
<p>新潟市新津地域交流センター、新潟市新津本町地域コミュニティセンター</p>	<p>新潟地域交流センター管理運営委員会</p> <p>【構成団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新津中央コミュニティ協議会 ・新津西部コミュニティ推進協議会 ・秋葉区社会福祉協議会 ・秋葉区ボランティア連絡協議会 ・秋葉区手をつなぐ育成会 ・秋葉区身体障害者福祉協会 ・秋葉区障がい施設連絡協議会 ・新潟市秋葉区老人クラブ連合会 ・新津商店街協同組合連合会 ・社会福祉法人親和福祉会就労サポートセンターオテント 	<p>新津地域交流センターの施設設置に併せ、管理運営委員会を構成する団体により、円滑に施設運営が行われている。</p> <p>施設は、コミュニティ機能・福祉機能・行政機能を備えた複合施設であり、それぞれの機能を活かしながら、利用者に気持ち良く使っていただけるよう、サービスの向上に努めている。</p> <p>年間利用者は6万人で、新津地域交流まつり等の自主事業を通じて、地域や利用者の交流を図っている。</p> <p>定期的に職員会議（運営スタッフのミーティング）を開き、運営上の課題や利用者への対応等について情報共有を行っている。</p> <p>また、2か月に1回管理運営委員会を開催し、施設利用の状況について報告を受けて、課題への解決やサービスの改善等について協議を行っている。</p> <p>利用者の声を活かした施設サービスへつなげるため、利用者へのアンケートを実施するとともに、収支計画に沿った健全な管理運営に努めている。</p> <p>以上のことから、指定管理者として優良であると評価できる。</p>
<p>新潟市新関コミュニティセンター</p>	<p>新関コミュニティ協議会</p>	<p>コミュニティセンターの設置目的に沿って、地域住民の連帯感を高め、地域づくりの拠点施設として、円滑に施設運営を行っている。</p> <p>新関小学校と隣接し、自治会・町内会、学校、保育園ほか関係機関・団体等と連携し、防災活動や福祉活動などの事業に取り組むことで、安全・安心な地域づくりを進める拠点となっている。</p> <p>また、「会報しんせき」を発行し、積極的に地域への情報発信を行っている。</p> <p>年間利用者は7千人で、利用者の声を活かした施設サービスへつなげるため、利用者へのアンケートを実施するとともに、収支計画に沿った健全な管理運営に努めている。</p> <p>以上のことから、指定管理者として優良であると評価できる。</p>
<p>新潟市新津地区勤労青少年ホーム</p>	<p>新津東部コミュニティ協議会</p>	<p>新津地区勤労青少年ホームの設置目的に沿った施設利用に加えて、地域・市民活動の拠点施設として、円滑に施設運営を行っている。</p> <p>年間利用者は約3万人で、特に体育館の利用が多く、利用率は8割を超えている。</p> <p>施設の安全・安心を高めるため、利用団体にも参加いただき、救命・救急講座の開催や、地域活動の場としてコミュニティ協議会によるさまざまな事業が行われ、地域住民の交流の場となっている。</p> <p>利用者の声を活かした施設サービスへつなげるため、利用者へのアンケートを実施するとともに、収支計画に沿った健全な管理運営に努めている。</p> <p>今後は関係機関・団体等との連携を深め、住民主体による地域づくりを進める機能の充実を図る取り組みが期待できる。</p> <p>以上のことから、指定管理者として優良であると評価できる。</p>